

第14回 日野市住宅ストック活用推進協議会 議事要点録

日時：令和3年10月8日(金) 10:00～11:30

場所：PlanT

議事内容

1. 日野市住宅ストック活用推進協議会 会長の選任について
2. 空き住宅等対策計画の改定(案)に関する事項

報告事項

1. 「まちと空き家の学校」公開シンポジウムの開催状況
2. 「まちと空き家の学校」受講生の応募状況について

事務局

- 次第の確認。議事1について説明。

議事1について

事務局

- 会長の選任につきまして、委員全員の賛成をいただいたため、前会長に継続して行っていただく。

事務局

- 以降の進行を会長にお願いします。

議事2について

会長

- 事務局に議事2について説明を指示。

事務局

- 議事2について資料1、2により説明。

会長

- 意見・質問を促す。

委員

- 資料1-2にて、売却意向が減った理由はなにかあるのか。

事務局

- わからない。ただ、今後の利用意向でも売却したい方が前回に比べ少ない傾向で、その他意見等では自由意見欄では「コロナが終わってから考える」等、先延ばしにする意見が一定数あったので、コロナ禍の影響も一部あり得るのではと感じたところである。

会長

- 逆に、不動産業者として委員の方で何かわかるか？

委員

- わからない。

委員

- 資料2-2にて、「6つの取り組み(施策)の役割」のイラストにおける「宅地化」よりも多面的活用される空き家というのがまちの価値としてあがるというのは違和感がある。

また、アンケート結果で売却意向が多い。私は活用の実態を知っているため、理解できているが、市の施策が先走ってしまい実際に空き家を持っている方とずれが生じてしまうのではないかと。

事務局

- 事務局で検討したい。

会長	➢ 目標がどう書いてあるかに拠るのではないか。目標が示す内容を確認して合わせる ことが大事。
委員	➢ 資料2-2（P41）にて、まちの価値をgood or badで示すのはいかがなものか。
会長	➢ 検討する。
委員	➢ 資料2-2（P40）にて、ライフスタイルの変化と空き家のイラスト多面的な活用はこ の新陳代謝には入らないのか。
事務局	➢ P40の図では、一般的な住まいのライフサイクルを描き、その中で空き家という ものがごく普通に発生するものであることを示し、「空き家=悪いもの」ではな いと言いたいものなので、P41にある「まちの資源」の軸は反映していない。
会長	➢ 資料2-2（P40）にて、居住（ファミリー）の図は少し古い概念のイラスト化になっ ている気がする。多様性を盛り込んだ現在の家族形態を反映したほうが、余計な 炎上をしなくて済む。
事務局	➢ 庁内関係部署に確認する。
委員	➢ 資料2-2（P40・41）にて、施策の役割の図の中の、空き家・空き住宅等が統一され ていないのではないかと また、空き家、空き住宅等の定義、言葉の使い分けがされているか？
事務局	➢ P2の定義で示したとおり記載した。
委員	➢ イラストの「空き家」の使い分けと施策の「空き家」一致していない。
事務局	➢ ご指摘のとおり。整合とる。

報告事項1・2について

会長	➢ 事務局に報告事項1・2について説明を指示。
事務局	➢ 報告事項1・2について資料3・4により説明。
委員	➢ 資料3にて、シンポジウムのアンケートにおいて、自分の住む地域を良くしたいとい う意見が多いのはすばらしいことである。
事務局	➢ おっしゃる通りで、貴重な人材であるため、今後もこのような方々の支援が大切で あると考えている。
委員	➢ 資料3にて、学校への評価割合が低いのは問題視したほうがよい。
事務局	➢ ご指摘の通りではあるが、後ほど受講生の応募状況で説明させていただく。
委員	➢ 資料4にて、選考基準はどうなっているか。
事務局	➢ 市で選定基準設けており、地域活動の意欲、協調性、多様性、先導性を評価し点数 化し選考するもの。次回協議会で基準の考え方等は提示の上、受講生の報告など したい。
委員	➢ 資料4にて、学校の実習とはどのようなことをやるのか。
事務局	➢ 1回目の実習では、空き家の現場見学にて、今活用している空き家であればヒアリ ングを行い、これから片づけを行う空き家を視察するなどを予定している。2回目 の実習では活用の計画書作成、また3回目では作成した計画書の発表会を予定して いる。可能であれば、今活用している方や所有者の方に来ていただきご意見など を頂戴したいと考えている。

- | | |
|-----|---|
| 委員 | ➤ 資料4にて、活用している方にヒアリングを行くことは良いことだと思う。やはり地域の活動に根付かないと反対されてしまったりするので、そのあたりの実態を聞いてもらおうとよりよいと思う。 |
| 委員 | ➤ 資料4にて、20代のような若い世代は参加させるとよいと思う。受講生は各世代から選出してほしい。卒業後、受講生一人で何かできるものではないし、受講生同士が連携でき体制ができることを想定すると良いと思う。 |
| 事務局 | ➤ おっしゃる通り若い世代に入っていただくことは重要だと考えている。先導性などといった項目があるのでそこで傾斜がかかると思う。しかし受講を約束するものではない。 |
| 委員 | ➤ 一気に集めてやるよりは業者の成長も踏まえて、少数で複数行う方がよい。 |
| 事務局 | ➤ 参考意見とさせていただきます。 |
| 委員 | ➤ 空き家すごろくってどんなものか。 |
| 事務局 | ➤ 空き家活用をするうえで、よくある事象をすごろく形式にまとめたものである。例えば活用する前に地域活動に参加して仲間を集め、所有者に怒られて一回休みなどの要素が取り込まれているものである。委員皆様へすごろくを送付させていただきます。そのうえで次回協議会ではすごろくの説明もさせてもらいたい。 |
| 委員 | ➤ 資料4にて、受講生の所属をみて、民間企業の方もいるのではないかと感じた。民間企業の方が学校受講して新たな視点をビジネスに展開できると一気に広がる可能性もある。どのような人が応募しているのか非常に興味がある。次回報告時に聞けること楽しみにしている。 |
| 会長 | ➤ 受講者が決定したらどのような人が参加しているか情報共有するというところでよいか？ |
| 事務局 | ➤ はい。 |

閉会

- | | |
|-----|---------------------------------|
| 会長 | ➤ ご協力ありがとうございました。議事・報告事項は以上となる。 |
| 事務局 | ➤ 次回の協議会は令和3年12月中旬に開催を予定している。 |